

大地に感謝。

素焼された作品達を今年取れた米のモミ殻で覆い尽くし、人の手で起こしたその火を有志が徹夜で守りながら二十四時間かけ燻べ続けます。高温のモミ殻を掻き分けて作品を取り出す窯出し作業は危険を伴う荒業ですが、その一連の見事な一体感は野焼の見所でもあります。土を火にゆだねる陶芸の中で最も原始的な焼成方法であると同時に、土と友達である陶芸家としての大地への感謝の念を込めた儀式が「野焼」なのです。



野焼

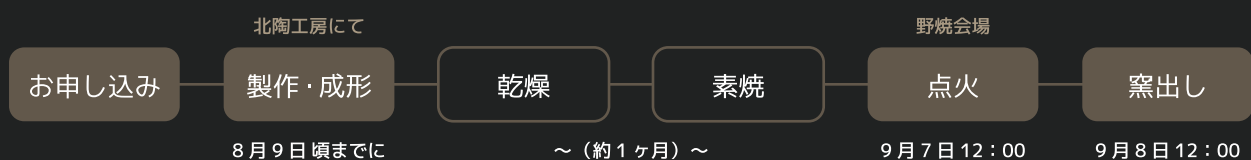
第三十九回

2013年9月7日(土)～8日(日)

点火：7日正午 場所：内灘海岸浜辺 主催：北陶

野焼は北陶会員や外部教室生徒が主な参加者ですが、原始的かつダイナミックなこのイベントに魅了される方々も多く、はるばる遠方から野焼の製作に來られる方々も年々増えてきています。そこでより多くの方々にもっと気軽にご参加頂けるよう粘土1kg以内での作品づくりに限定した体験コースを新設いたしました。花生け・器・立体造形など自由に製作し野焼にて焼成する、「陶芸の原点」を体験できるこのコースは陶芸未経験の方にも非常にお薦めです。年に1度のこの機会に是非ご参加下さい。

■ お申し込み受付中 一般参加向け：野焼体験コース ￥7,000 (税込)



体験コース製作締切：8月9日(金)頃

お問い合わせ：076-222-0077 北陶まで

※ 野焼当日までに乾燥・素焼が必要の為、8月9日(金)頃の製作完了が締め切りの目安となります。製作日に関してはお申し込み時にご相談下さい。

※ 1kg以上使用した製作をご希望の場合は通常の体験教室「ビジターコース」へお申し込み下さい。作品の大きさごとに焼成費を算出して個別対応致します。